

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	100	学校名	仙台市立高森小学校	校長名	熊谷 礼子
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

持続可能な環境づくりをめざして ～自然と花いっぱいの高森小学校～



2 取組の紹介

① 花植ネットワーク

高森小学校の児童と保護者、地域の方々が連携して、通学路にある花壇に、春と秋の2回、土作りと花植えを行っています。1年中、登下校の児童や地域の方々の心を和ませてくれています。主に休日の作業となりますが、地域や学校のために心を込めて活動する児童の姿が見られ、花に囲まれた高森地区をこれからも大切にしていきたいという気持ちが育ちました。



② 巣箱づくり・巣箱設置・野鳥観察

3年生が「総合的な学習の時間」で、「大好き高森！」をテーマに、自然豊かな高森地区について調べました。その活動の中で、「高森ふるさとづくりの会」や「宮城県野鳥の会」の皆さんにご協力いただき、巣箱づくりや校庭の木への設置、学校近くの公園の池に飛来している野鳥の観察などを行いました。昨年設置した巣箱を取り外した際、巣箱の中で鳥が巣づくりをした跡や、卵がふ化した跡などを見つけることができました。



③ 学校農園の活用と環境委員会による花壇の水やり

校内にある畑を活用し、2年生が生活科でサツマイモ、3年生が理科でキャベツ、4年生がヘチマ、6年生がじゃがいもを育てました。観察を行ったり、草取りや水やりなどのお世話をしたりしました。学校の花壇に春にはマリーゴールド、サルビア、インパチェンスを植え、秋にはパンジーやチューリップを植えました。環境委員会の子供たちが、交代で朝や休み時間に水やりなどのお世話や花壇の整備などを行いました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

花と豊かな自然に囲まれた高森小学区で育っている子供たちは、この環境を当たり前のあるものとして考えているような姿が見られていましたが、これらの取組を経て、この環境が誰かの継続的な努力の上で成り立っているということに気付くことができました。また、それを持続可能なものにしていくために、自分たちも積極的に参画していこうとする気持ちを育むことができました。